

IV 研究活動

農場では、教員と技術職員が一体となってフィールド農学に関わる様々な研究および技術開発を推進している。また、農場は、フィールド農学の研究施設として、学部教員あるいは学部学生や大学院生の研究に広く活用され、その成果は分子生物学から農業現場直結型まで広い範囲に亘っている。

1 研究課題

1) 農場の研究課題

- ・ヤムイモ類の生理生態学的研究
- ・熱帯・亜熱帯性植物の導入と順化並びに機能性成分に関する研究
- ・サトウキビの生育特性と糖蓄積に関する研究
- ・ヤムイモの挿し木繁殖に関する研究
- ・ヤムイモの遺伝資源保存と挿し木苗繁殖に関する研究
- ・ヤムイモおよびジャトロファの生態学的研究
- ・サトウキビの栽培に関する研究
- ・口之島野生化牛 F1 の発育特性に関する研究
- ・牛白血病ウイルスの物理的防除法に関する研究
- ・解砕竹粉の敷料利用に関する研究
- ・肥育牛の有機酸組成に対する嗜好試験（飲水試験）
- ・南九州中山間地域における各種牧草の栽培適正に関する研究
- ・黒毛和種×口之島野生化牛 F1 の肉質に関する研究
- ・牛白血病（BLV）の物理的感染防除に関する研究
- ・自家配合飼料給与による肉質向上に関する研究

2) 農場施設を利用した学部研究室の研究課題

(1) 学内農場農事部圃場を利用した研究課題

(作物学研究室)

- ・カンショの品質、栽培法及び生産性に関する研究
- ・水稻の温度反応に関する研究
- ・水稻の遺伝資源に関する研究

(熱帯作物学研究室)

- ・共生窒素固定量の新測定法開発に向けての基礎的研究
- ・マメ科作物の窒素固定量の新規評価法の確立

(植物育種学研究室)

- ・アワの形態調査と品種保存
- ・アワの突然変異に関する遺伝分析
- ・水稻の耐病性に関する遺伝分析（FSRC：田浦教授との共同研究）
- ・アブラナ科及びマメ科植物の成長モードに関する実験（植物分子：岡本准教授との共同研究）
- ・ジネンジョとウコンの遺伝解析に関する研究（遠城教授，朴准教授，石橋准教授との共同研究）
- ・種々の作物の生長モードに関する実験（植物分子：岡本繁久准教授との共同研究）
- ・ヤムイモ・ウコン類の遺伝解析（農場：遠城，応用分子微生物：石橋准教授との共同研究）

(果樹園芸学研究室)

- ・ボンカン，キンカン，実験材料の栽培
- ・ブルーベリー栽培
- ・研究供試用のコンテナ及びポット植えのボンカン，タンカン等100樹を置くため
- ・マスカデインブドウ（繁殖試験用）の試作

(蔬菜園芸学研究室)

- ・ウリ科の育種
- ・クルクマ属植物の成長に関する研究（農場：遠城教授との共同研究）
- ・桜島ダイコンの育種
- ・サトイモの環境適応性

(観賞園芸学研究室)

- ・ツバキ属植物の系統発生並びに新花色の育種、及びヤギによるツバキ園除草（中西教授、高山准教授との共同研究）
- ・ツバキ属植物の花色の遺伝、及びガチョウによるツバキ園管理（共同研究）
- ・トルコギキョウの新花色の育種
- ・トルコギキョウの花型・花色の育種と切り花生産
- ・ツバキ属植物の系統発生並びに新花色の育種
- ・ツバキ属植物の花色の遺伝（家畜管理との共同利用）

(害虫学研究室)

- ・昆虫ウイルスによるチャノホソガの防除
- ・温度条件がチャノコカクモンハマキの成育に及ぼす影響
- ・露地ナスにおける土着天敵を利用した害虫防除体系の確立
- ・ハモグリバエ抵抗性キク品種に対するハモグリバエの適応
- ・トマトに発生するハダニ類およびそれらの天敵の生態

(家畜管理学研究室)

- ・山羊に対する飼料刷り込みおよびその放牧地雑草抑圧への応用の可能性
- ・合鴨農法による有色米（黒米、緑米）および飼料米の栽培に関する研究
- ・電気刺激を利用した農作物に対するスズメの食害防除に関する研究
- ・（ヤギ3頭、ガチョウ10羽または合鴨10羽実験用サイレージ）地域未利用資源の飼料化に関する研究：サイレージ調製および消化・代謝試験、嗜好試験など
- ・水禽類の自然孵化ならびに育雛試験など
- ・ヤギ、ガチョウおよびアイガモ放飼によるツバキ園の植生管理（観賞園芸との共同利用）

(植物栄養・肥料学研究室)

- ・オクラ品種の養分吸収特性の調査
- ・堆肥を利用した作物栽培に関する研究

(農業環境システム学研究室)

- ・サトウキビ栽培体系の高度化に関する研究
- ・マルチの分解特性に関する研究

(遺伝子実験施設)

- ・ワールドイネコレクションの栽培実験
- ・アジア産イネの形質調査と品種保存

(焼酎製造学)

- ・焼酎製造実習におけるサツマイモ苗床として使用

(理工学研究科・理学系)

- ・Sustainable Campus Project (SCP) の活動として、生協生ゴミ堆肥を活用した野菜の栽培、および商品化による学内環境システムの構築に関する研究

(2) 唐湊果樹園を利用した研究課題

(作物学研究室)

- ・カンショの品質、栽培法及び生産性に関する研究

(果樹園芸学研究室)

- ・果樹栽培における炭化物利用に関する試験
- ・タンカンとボンカン果実の発育および成熟の比較試験
- ・タンカン果実の発育と成熟に影響する要因の解明試験
- ・タンカンとボンカン果実の発育と成熟比較および光合成速度の季節的変化に関する試験
- ・果実発育および品質向上に関する試験
- ・パッションフルーツの樹体発育、花芽分化および結実に関する試験およびタンカンの台木試験用育苗
- ・タンカンの着果負担試験用ポット置き場
- ・タンカンの台木試験用ポット置き場
- ・タンカンの着果負担に関する研究
- ・奄美諸島在来カンキツの特性解明
- ・奄美諸島在来カンキツの特性解明と利用に関する研究

- ・カンキツ類の進化および種分化に関する研究
- ・有核性カンキツの無核化に関する研究
- ・アセロラの栽培・育種技術の改良

(植物栄養・肥料学研究室)

- ・下水汚泥堆肥(サツマソイル)の市民利用促進に関する研究
- ・下水汚泥堆肥を利用した作物栽培に関する研究

(理工学研究科(理学系))

- ・焼酎粕の分解物が、堆肥として有効利用できるかを作物栽培によって実地検証する

(3) 指宿植物試験場を利用した研究課題

(附属農場)

- ・ヤムイモの挿し木繁殖に関する研究
- ・ヤムイモの遺伝資源保存と挿し木苗繁殖に関する研究
- ・ヤムイモおよびジャトロファの生態学的研究
- ・サトウキビの栽培に関する研究

(4) 入来牧場を利用した研究課題

(家畜繁殖学研究室)

- ・家畜人工繁殖学実習
- ・応用動物学実験
- ・家畜の繁殖生理と遺伝子改変家畜作成に関する研究
- ・家畜繁殖学実験

(家畜管理学研究室)

- ・山羊放牧による野草地の牧草地化に関する研究
- ・飼料採食競合の緩和に関する研究
- ・山羊放牧による草地強害雑草(エゾノギンギン)の防除に関する研究
- ・野生哺乳類の入来牧場内への侵入防除に関する研究

(臨床病理学研究室)

- ・黒毛和種のライソゾーム蓄積病の原因解明
- ・肝生検材料を利用した常在微生物の調査

(附属農場)

- ・口之島野生化牛 F1 の発育特性に関する研究
- ・牛白血病ウイルスの物理的防除法に関する研究
- ・解砕竹粉の敷料利用に関する研究
- ・肥育牛の有機酸組成に対する嗜好試験(飲水試験)
- ・南九州中山間地域における各種牧草の栽培適正に関する研究
- ・黒毛和種×口之島野生化牛 F1 の肉質に関する研究
- ・牛白血病(BLV)の物理的感染防除に関する研究
- ・自家配合飼料給与による肉質向上に関する研究

(5) 学内農場畜産部を利用した研究課題

(家畜繁殖学研究室)

- ・家畜の繁殖生理と遺伝子改変家畜作成に関する研究
- ・家畜人工繁殖学実習
- ・家畜繁殖学実験

(家畜育種学研究室)

- ・家畜・家禽における遺伝育種学的研究

(家畜管理学研究室)

- ・家畜の行動管理に関する研究
- ・未利用資源の飼料化に関する研究
- ・応用動物学実験, 卒業論文, 家畜生産学特別研究
- ・家畜管理学実験, 家畜生産学特別実習 I・II, 卒業論文, 家畜生産学特別研究

(食品分子機能学研究室)

- ・食品および食品成分の機能解析

(栄養生化学・飼料化学研究室)

- ・共役リノール酸の栄養生理機能に関する研究
- ・走行運動が骨格筋のタンパク質分解関連遺伝子に及ぼす影響
- ・オポアルブミンの脂質代謝改善作用
- ・抗糖尿病素材がニワトリの筋肉タンパク質代謝に及ぼす影響
- ・栄養生化学実験
- ・機能性飼料素材に関する研究

2 研究成果

1) 農場 (2011)

(1) 論文

栢木琢磨・遠城道雄・朴 炳宰. 2011 貯蔵根数の違いがクルクマ (*Curcuma alismatifolia* Gagnep.) の生育に及ぼす影響. 農業生産技術管理学会誌. 18: 109-114

Byoung-Jae Park, Tomohiko Matusta, Tsutomu Kanazawa Kwang-Jin Chang, Cheol-Ho Park and Michio Onjo. 2011 Phenolic compounds from the leaves of *Pisidium guajava*. 1. Hydrolysable tannins and benzophenone glycosides, *Chemistry of natural compounds*. 47: 632-635

(2) 口頭発表

主税裕樹・溝口由子・広瀬啓介・高山耕二・中西良孝・富永 輝・城戸麻里・田浦一成・野村哲也・大島一郎・坂田祐介. 2011. ツバキ園における山羊の除草利用. 日本暖地畜産学会第4回大会. G1-05

溝口由子・根本紘史・主税裕樹・高山耕二・中西良孝・富永 輝・城戸麻里・田浦一成・野村哲也・大島一郎・坂田祐介. 2011. ツバキ園におけるガチョウの除草利用. 日本暖地畜産学会第4回大会. G1-06

高橋 浩・主税裕樹・大島一郎・高山耕二・中西良孝. 2011. 給餌用隔柵が成雌山羊群の飼料採食競合に及ぼす影響. 日本暖地畜産学会第4回大会. G1-07

主税裕樹・長谷川瑞穂・花田信太郎・大島一郎・高山耕二・中西良孝. 2011. 山羊による草地強害雑草エゾノギシギシの嗜好性. 日本畜産学会第114回大会. V126-11

栢木琢磨・遠城道雄・朴 炳宰. 2011. ジベレリンが *Curcuma* 属作物根茎の休眠に及ぼす影響. 日本熱帯農業学会第110回講演会

深澤元紀・牧島綾子・遠城道雄・水野宗衛・朴 炳宰. 2011. ジベレリンがトゲドコロの生育に及ぼす影響. 日本熱帯農業学会第110回講演会

2) 農場を利用した研究成果 (2011)

(1) 論文

Katsuyuki Ichitani, Satoru Taura, Takahiro Tezuka, Yuuya Okiyama, Tsutomu Kuboyama. 2011. Chromosomal Location of *HWA1* and *HWA2*, Complementary Hybrid Weakness Genes in Rice. *Rice*. 4: 29-38

Yamamoto, M., R. Kouno, T. Nakagawa, T. Usui, T. Kubo and S. Tominaga. 2011. Isozyme and DNA analyses of local Citrus germplasm on Amami islands, Japan. *Journal of the Japanese Society for Horticultural Science*. 80: 268-275

Muramatsu, N., M. Yamamoto, H. Nakano and H. Yamanouchi. 2011. Analysis of factors governing water flow traits in fruiting plants twigs. *Scientia Horticulturae*. 130: 175-180

坂巻祥孝・杉谷詩麻・近藤岳美・津田勝男. 2011. チャ葉の延命処理によるチャノホソガの室内飼育法. 蝶と蛾. 62(1), 51-55

Nakanishi, Y., K. Takayama and N. Yasuda. Effects of Japanese bead-tree (*Melia azedarach* var. *subtripinnata*) on gastrointestinal parasites in goats. *Japan Agricultural Research Quarterly*, 45(1), 117-121, 2011

高山耕二・島袋 卓・吉田美代・赤井克己・中西良孝. 2011. 合鴨卵に対するカラスの食害防除. 鹿児島大学農学部学術報告. 第61号, p.23-27

中西良孝・今里みどり. 岡元孝太郎. 高山耕二. 萬田正治. 2011. 山羊による林床野生植物の嗜好性. 鹿児島大学農学部附属農場研究報告. 第33号, p.1-8

高山耕二・根元紘史・溝口由子・城戸麻里・富永 輝・田浦一成・野村哲也・中西良孝. 2011. 屋外放飼したセイヨウガチョウならびにシナガチョウの産卵能力の比較. 鹿児島大学農学部附属農場研究報告. 第33号, p.9-12

高山耕二・溝口由子・根元紘史・野村哲也・田浦一成・城戸麻里・富永 輝・中西良孝, 2011. 草地に放飼したガチョウの産卵能力. 有機農業研究, 第3巻第1号, p.44-49

(2) 口頭発表

- 一谷勝之・田浦 悟・手塚孝弘・沖山友哉・久保山勉, 2011. イネ雑種弱勢遺伝子 *HWA1*, *HWA2* の連鎖分析. 日本育種学会第119回講演会要旨集, 59
- 田浦 悟・高須有希子・一谷勝之・河邊弘太郎・佐藤宗治, 2011. イネ第4染色体に座乗するイネ白葉枯病抵抗性遺伝子 *Xa1* および *Xa2* の抵抗性の発現. 日本育種学会第119回講演会要旨集, 114
- 伊藤彰宏・曾我部暁・梶原ゆき・石畑清武・久保達也・富永茂人・山本雅史, 2011. アセロラ (*Malpighia glabra* L.) の茎頂培養. 園芸学会平成23年度秋季大会. 園学研, 10(別1): 412
- 伊藤彩華・小磯愛美・坂巻祥孝・津田勝男, 2011. フスマ施用および障壁植物設置をした露地ナス栽培における害虫・天敵相. 九州病害虫研究会第81回研究発表会
- 小磯愛美・伊藤彩華・坂巻祥孝・津田勝男, 2011. フスマ施用などによって土着天敵(中気門ダニ類)を呼び込んだ露地ナス栽培. 九州病害虫研究会第81回研究発表会
- 佐藤安紀・坂巻祥孝・津田勝男, 2011. トマト上におけるスワルスキーカブリダニの利用の可能性. 九州病害虫研究会第81回研究発表会
- 能見伊久絵・津田勝男・坂巻祥孝, 2011. チャノホソガ顆粒病ウイルスの野外散布の効果. 九州病害虫研究会第81回研究発表会
- 山岡寛和・坂巻祥孝・津田勝男・白山竜次, 2011. ハモグリバエ抵抗性キク品種に対するマメハモグリバエの適応. 九州病害虫研究会第81回研究発表会
- 溝口由子・根元紘史・高山耕二・中西良孝・福永大悟, 2011. 野菜園におけるガチョウの除草利用. 日本家畜管理学会. 応用動物行動学会2011年度春季合同研究発表会, 49
- 吉田美代・高山耕二・廣瀬 潤・片平清美・中西良孝・赤井克己, 2011. 飼育シカの通り抜け能力. 日本家畜管理学会. 応用動物行動学会2011年度春季合同研究発表会, 66
- 主税裕樹・長谷川瑞穂・花田信太郎・大島一郎・高山耕二・中西良孝, 2011. 山羊による草地強害雑草エゾノギシギシの嗜好性. 日本畜産学会第114回大会, 189
- 主税裕樹・溝口由子・広瀬啓介・高山耕二・中西良孝・富永 輝・城戸麻里・田浦一成・野村哲也・大島一郎・坂田祐介, 2011. ツバキ園における山羊の除草利用. 第4回日本暖地畜産学会沖縄大会, 246
- 溝口由子・根元紘史・主税裕樹・高山耕二・中西良孝・富永 輝・城戸麻里・田浦一成・野村哲也・大島一郎・坂田祐介, 2011. ツバキ園におけるガチョウの除草利用. 第4回日本暖地畜産学会沖縄大会, 247
- 高橋 浩・主税裕樹・大島一郎・高山耕二・中西良孝, 2011. 給餌用隔柵が成雌山羊群の飼料採食競合に及ぼす影響. 第4回日本暖地畜産学会沖縄大会, 248
- 中西良孝・岩成文子・高山耕二・来海芳久, 2011. 資源循環型畜産を推進するための食品製造副産物の飼料利用—くま笹エキス残渣サイレージが山羊の養分摂取, 行動ならびに健康状態に及ぼす影響—. 第12回日本有機農業学会大会, 132-134
- 田浦 悟・高須有希子・一谷勝之・河邊弘太郎・佐藤宗治, 2011. イネ第4染色体に座乗するイネ白葉枯病抵抗性遺伝子 *Xa1* および *Xa2* の抵抗性の発現. 日本育種学会. 育種学研究別冊1号

(3) 博士論文

(4) 修士論文

- 根元紘史, 2011. 果樹園におけるガチョウ類の除草利用に関する研究
- 吉田美代, 2011. 電気柵による牧場採草地へのシカ侵入防止に関する研究
- 下野清香, 2011. トゲドコロ (*Dioscorea esculenta*) のイモ肥大に関する形態および生理生態学的研究

(5) 卒業論文

- 久保美聡, 2011. 温暖化に対応した水稻新品種の特徴
- 山神早代, 2011. 温暖化に対応した水稻新品種の穂の蒸散量について
- 久保香澄・井上千恵, 2011. イオンビームによって誘発されたイネ突然変異体の選抜と評価
- 濱崎泰寛, 2011. イネ雑種弱勢遺伝子 *HWA1* の高密度連鎖解析
- 佐藤安紀, 2011. トマト上におけるスワルスキーカブリダニの利用の可能性
- 能見伊久絵, 2011. チャノホソガ顆粒病ウイルスの野外散布の効果

- 山岡寛和, 2011. ハモグリバエ抵抗性キク品種に対するマメハモグリバエの適応
- 大久保彰子, 2011. 地域未利用資源を組み合わせた黒毛和種去勢牛の放牧肥育に関する研究－肥育後期における成績－
- 植田尚子, 2011. 食品製造副産物主体の発酵混合飼料が黒毛和種育成雌牛の発育ならびに飼料利用性に及ぼす影響
- 長谷川瑞穂, 2011. 山羊に対する飼料刷り込みとその放牧地雑草抑圧への応用に関する研究－強害雑草エゾノギシギシの嗜好性ならびに子山羊への刷り込み効果－
- 内富大輔, 2011. 合鴨農法で生産した多収量米の飼料ならびに米粉利用に関する研究
- 笹山琢洋, 2011. 農業生産現場における視覚ならびに聴覚刺激を利用したカラス害防除に関する研究
- 小林美咲, 2011. 水稲栽培におけるスズメ害防除に関する研究
- 箕田佐友里, 2011. 鹿児島におけるキャッサバ3系統の生育と栽培の可能性
- 今吉興志郎, 2011. ジベレリンとオーキシンの葉面散布がキャッサバの生育に及ぼす影響
- 河野 遥, 2011. 挿し木法を用いたダイジョの増殖について

(6) 著書

(7) 商業誌

3 研究助成

- 大島一郎「肉畜資源としての口之島野生化牛の高度利用に関する研究」(2011-2013).
日本学術振興会科学研究費補助金若手 (B)
- 大島一郎 (分担)「稀少動物遺伝資源としての在来山羊の保護と利用に関する研究会」(2011).
鹿児島大学連合大学院連合農学研究科長裁量経費 平成23年度構成大学間共同研究推進プログラム事業
- 大島一郎 (共同研究)「焼酎粕の周年放牧繁殖牛補助飼料としての有効活用に関する研究」(2011).
- 遠城道雄 (分担)「アフリカにおける孤児作物の生産性改善に関する研究」(2010-2012).
日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究 (B)

4 学会等活動

日本熱帯農業学会, 日本作物学会, 園芸学会, 日本農作業学会, 日本育種学会, 日本草地学会, 農業生産技術管理学会, 畜産学会, 日本暖地畜産学会, 日本養豚学会

5 遺伝資源の保存

農場は, わが国における温暖地, 亜熱帯, 熱帯植物及びトカラ馬, 野生化牛などの希少動物の遺伝資源保存センターとしての機能を有する。各付帯施設で保有する遺伝資源は下記のとおりである。

1) 唐湊果樹園

唐湊果樹園では, 第22表に示すように, 落葉果樹11種類36品種・系統, 常緑果樹2種類125品種・系統, 熱帯・亜熱帯果樹9種類37品種・系統を保存している。

第22表 唐湊果樹園で保存している果樹遺伝資源リスト

樹種名, 学名または組み合わせ	品種・系統名
落葉果樹	
ナシ	
<i>Pyrus serotina</i> Rehder	幸水
<i>Pyrus serotina</i> Rehder	新興
モモ	
<i>Prunus persica</i> Sieb.	あかつき
<i>Prunus persica</i> Sieb.	日川白鳳
<i>Prunus persica</i> Sieb.	ちよひめ
スモモ	
<i>Prunus</i> sp.	メスレー
<i>Prunus</i> sp.	大石早生
ウメ	
<i>Prunus mume</i> Sieb.	南高

<i>Prunus mume</i> Sieb.	鶯宿
<i>Prunus mume</i> Sieb.	竜峡小梅
ブドウ	
<i>Vitis</i> sp.	キャンベル アーリー
<i>Vitis</i> sp.	デラウエア
<i>Vitis</i> sp.	ゴルビー
<i>Vitis</i> sp.	安芸クイーン
<i>Vitis</i> sp.	ロザリオ ロッソ
<i>Vitis</i> sp.	ロザリオ ビアンコ
<i>Vitis</i> sp.	翠峰
<i>Vitis</i> sp.	ハニー ビーナス
<i>Vitis</i> sp.	シャイン マスカット
<i>Vitis</i> sp.	瀬戸ジャイアンツ
カキ	
<i>Diospyrus kaki</i> L.	平核無
<i>Diospyrus kaki</i> L.	富有
<i>Diospyrus kaki</i> L.	次郎
<i>Diospyrus kaki</i> L.	禅寺丸
<i>Diospyrus kaki</i> L.	太秋
<i>Diospyrus kaki</i> L.	新秋
<i>Diospyrus kaki</i> L.	西村早生
<i>Diospyrus kaki</i> L.	マメガキ
<i>Diospyrus kaki</i> L.	ロウア柿
<i>Diospyrus kaki</i> L.	常葉柿
ブルーベリー	
<i>Vaccinium</i> sp.	ホームベル
<i>Vaccinium</i> sp.	ウッダード
<i>Vaccinium</i> sp.	ティフブルー
<i>Vaccinium</i> sp.	T100
<i>Vaccinium</i> sp.	クライマックス
<i>Vaccinium</i> sp.	パールリバー
<i>Vaccinium</i> sp.	オースチン
<i>Vaccinium</i> sp.	ブライトウェル
<i>Vaccinium</i> sp.	マグノリア
<i>Vaccinium</i> sp.	ジャージー
<i>Vaccinium</i> sp.	ブラッデン
<i>Vaccinium</i> sp.	ジョージアジム
<i>Vaccinium</i> sp.	オニール
<i>Vaccinium</i> sp.	シャープブルー
クリ	
<i>Castanea</i> Miller	筑波
<i>Castanea</i> Miller	三原系
<i>Castanea</i> Miller	丹沢
イチヨウ (ギンナン)	
<i>Ginkgo biloba</i> L.	藤九郎
<i>Ginkgo biloba</i> L.	嶺南
<i>Ginkgo biloba</i> L.	久寿
ザクロ	
<i>Punica granatum</i> L.	在来系
クワ	
<i>Morus</i> sp.	しだれぐわ
常緑果樹	
ビワ	
<i>Eriobotrya japonica</i> Lindley	茂木
<i>Eriobotrya japonica</i> Lindley	白茂木

<i>Eriobotrya japonica</i> Lindley	長崎早生
カンキツ	
<i>Citrus macroptera</i> Mont.	カブヤオ
<i>C. hystrix</i> DC.	ブルット
<i>C. latipes</i> (Swing.) Tan.	カシーバペダ
<i>C. aurantifolia</i> (Christm.) Swing.	メキシカンライム
<i>C. limettioides</i> Tan.	スイートライム
<i>C. bergamia</i> Risso et Poit.	ベルガモット
<i>C. Montana</i> Tan.	ビロロ
<i>C. excelsa</i> Wester	レモンリアル
<i>C. medica</i> L.	ブッシュカン
<i>C. medica</i> L.	マルブッシュカン
<i>C. limon</i> (L.) Burm. f.	アレンユーレカ
<i>C. limetta</i> Risso	スイートレモン
<i>C. balotina</i> Poit. et Turp.	バロチンベルガモット
<i>C. grandis</i> (L.) Osb.	安政柑
<i>C. grandis</i> (L.) Osb.	晩王柑
<i>C. grandis</i> (L.) Osb.	チャンドラー
<i>C. grandis</i> (L.) Osb.	はやさき
<i>C. grandis</i> (L.) Osb.	紅まどか
<i>C. grandis</i> (L.) Osb.	水晶文旦
<i>C. grandis</i> (L.) Osb.	晩白柚
<i>C. grandis</i> (L.) Osb.	麻豆紅柚
<i>C. grandis</i> (L.) Osb.	土佐文旦
<i>C. grandis</i> (L.) Osb.	大橘
<i>C. pseudogulgul</i> Hort. ex Shirai	ジャガタラユ
<i>C. paradise</i> Macf.	マーシュ シードレス
<i>C. hassaku</i> Hort. ex Tan.	ハッサク
<i>C. hassaku</i> Hort. ex Tan.	農間紅ハッサク
<i>C. medioglobosa</i> Hort. ex Tan.	ナルト
<i>C. natsudaidai</i> Hayata	川野なつだいだい
<i>C. natsudaidai</i> Hayata	紅甘夏
<i>C. ampullaceal</i> Hort. ex Tan.	ヒョウカン
<i>C. yamabuki</i> Hort. ex Y. Tanaka	ヤマブキ
<i>C. sulcata</i> Hort. ex Takahashi	サンボウカン
<i>C. kawachiensis</i> Hort. ex Y. Tanaka	カワチバンカン
<i>C. aurantium</i> L.	カブス
<i>C. aurantium</i> L.	回青橙
<i>C. aurantium</i> L.	斑入りダイダイ
<i>C. myrtifolia</i> Rafin.	キノット
<i>C. rokugatsu</i> Hort. ex Y. Tanaka	ロクガツミカン
<i>C. canaliculata</i> Hort. ex Y. Tanaka	キクダイダイ
<i>C. sinensis</i> (L.) Osb.	ハムリン
<i>C. sinensis</i> (L.) Osb.	トロビタ
<i>C. sinensis</i> (L.) Osb.	オリンダ バレンシア
<i>C. sinensis</i> (L.) Osb.	タロッコ
<i>C. sinensis</i> (L.) Osb.	モロ
<i>C. sinensis</i> (L.) Osb.	ピラリマ
<i>C. tankan</i> Hayata	垂水1号
<i>C. iyo</i> Hort. ex Tanaka	宮内伊予柑
清家ネーブル × クレメンティン	ありあけ
宮川早生 × トロビタオレンジ	清見
交雑親不詳のタンゴール	マーコット
<i>C. tamurana</i> Hort. ex Tanaka	ヒュウガナツ
<i>C. tamurana</i> Hort. ex Tanaka	オレンジ日向

<i>C. aurea</i> Hort. ex Tan	カワバタミカン
<i>C. ichangensis</i> Swing.	イーチャンジェンシス
<i>C. junos</i> Sieb. ex Tan.	山根
<i>C. junos</i> Sieb. ex Tan.	ユズ
<i>C. hanaju</i> Hort. ex Shirai	ハナユ
<i>C. sudachi</i> Hort. ex Shirai	スダチ
<i>C. spaerocarpa</i> Hort. ex Tan.	カボス
<i>C. nobilis</i> Lour.	クネンボ
<i>C. nobilis</i> Lour.	トクニン
<i>C. unshiu</i> Marc.	原木 (4代目)
<i>C. unshiu</i> Marc.	青島温州
<i>C. unshiu</i> Marc.	寿太郎温州
<i>C. unshiu</i> Marc.	白川温州
<i>C. unshiu</i> Marc.	十万温州
<i>C. unshiu</i> Marc.	大津4号
<i>C. unshiu</i> Marc.	興津早生
<i>C. unshiu</i> Marc.	宮川早生
<i>C. unshiu</i> Marc.	かごしま早生
<i>C. keraji</i> Hort. ex Tan.	ケラジ
<i>C. keraji</i> var. Kabuchii Hort. ex Tanaka	喜界ミカン
<i>C. keraji</i> var. Kabuchii Hort. ex Tanaka	ナツクニン
<i>C. oto</i> Hort. ex Y. Tanaka	オートー
<i>C. reticulata</i> Blanco	吉田ボンカン
<i>C. reticulata</i> Blanco	薩州
<i>C. deliciosa</i> Ten.	地中海マンダリン
<i>C. genshokan</i> Hort. ex Tan.	ゲンショウカン
<i>C. genshokan</i> Hort. ex Tan.	ウスカワ
<i>C. tangerina</i> Hort. ex Tan	大紅ミカン
<i>C. clementina</i> Hort. ex Tan.	クレメンティン
<i>C. tachibana</i> (Mak.) Tan.	タチバナ
<i>C. kinokuni</i> Hort. ex Tan.	キノクニ
<i>C. sunki</i> Hort. ex Tan.	スンキ
<i>C. reshni</i> Hort. ex Tan.	クレオパトラ
<i>C. depressa</i> Hayata	シイクワシャー
<i>C. depressa</i> Hayata	シークニン (甘)
<i>C. depressa</i> Hayata	シークニン (辛)
<i>C. leiocarpa</i> Hort. ex Tan.	コウジ
<i>C. flaviculpus</i> Hort. ex Tanaka	キミカン
<i>C. sp.</i>	コズ
<i>C. sp.</i>	島みかん (黒島)
キング×地中海マンダリン	アンコール
クレメンティン×ダンシータンゼリン	フォーチュン
小西早生×フェアチャイルド	サガマンダリン
キング×ウンシュウミカン	カーラ
三保早生×クレメンティン	南香
今村温州×中野3号ボンカン	早香
クレメンティン×オーランド	ノバ
ミネオラ×クレメンティン	ページ
清見×中野3号ボンカン	陽香
清見×中野3号ボンカン	不知火
清見×ボンカンF-2432	はるみ
清見×アンコール	あまか
(清見×興津早生) ×ページ	天草
(清見×アンコール) ×マーコット	せとか
清見×興津早生	津之香

IV 研究活動

上田温州×ハッサク	スイートスプリング
ダンカングレープフルーツ×ダンシータンゼリン	ミネオラ
<i>C. madurensis</i> Lour.	シキキツ
<i>C. sp.</i>	辺塚ダイダイ
<i>C. sp.</i>	小林みかん
キンカン	
<i>Fortunella hindsii</i> (Champ.) Swing.	キンズ
<i>F. margarita</i> (Lour.) Swing.	ナガキンカン
<i>F. japonica</i> (Thumb.) Swing.	マルキンカン
<i>F. crassifolia</i> Swing.	ニンボウキンカン
<i>F. obovata</i> Tan.	チョウジュキンカン
<i>F. margarita</i> X <i>F. crassifolia</i>	ぶちまる
カラタチ	
<i>Poncirus trifoliata</i> (L.) Raf.	ルビドー
<i>Poncirus trifoliata</i> (L.) Raf.	ヒリュウ
カンキツ近縁属	
<i>Microcitrus</i> X <i>C. madurensis</i>	ファウストリメディン
<hr/>	
熱帯・亜熱帯果樹	
マンゴー	
<i>Mangifera indica</i> L.	アーウィン
<i>Mangifera indica</i> L.	ゴールデン リッペンス
<i>Mangifera indica</i> L.	ナム ドク マイ
<i>Mangifera indica</i> L.	メラーイン
パッションフルーツ	
<i>Passiflora edulis</i> Sims	サマークイーン
<i>Passiflora edulis</i> Sims	ルビースター
<i>Passiflora edulis</i> Sims	アマミノジャンボウ
アセロラ	
<i>Malpighia emergunata</i> DC.	ハワイアン クイーン
<i>Malpighia emergunata</i> DC.	レッド ジャンボ
<i>Malpighia emergunata</i> DC.	トロピカル ルビー
<i>Malpighia emergunata</i> DC.	レーンボルグ
<i>Malpighia emergunata</i> DC.	マウナウイリ
<i>Malpighia emergunata</i> DC.	ハワイアン
アボカド	
<i>Persea americana</i> Mill	フエルテ
ゴレンシ	
<i>Averrhoa carambola</i> L.	ナナ スター
<i>Averrhoa carambola</i> L.	ボゴール
<i>Averrhoa carambola</i> L.	マレーシア
<i>Averrhoa carambola</i> L.	二林軟枝
<i>Averrhoa carambola</i> L.	竹葉
<i>Averrhoa carambola</i> L.	バンコク
<i>Averrhoa carambola</i> L.	カギ
シロサボテ	
<i>Casimiroa edulis</i> La Llave	マリブ
	キャンディー
ピタヤ	
<i>Hyocereus</i> L.	黄色系
	赤色系
リュウガン	
<i>Euphoria longan</i> Stend	N93-6
	カーラ
	ハエウ
	シーチョンブー

エワイ
 ビオキウ
 サキップ
 タイウエン
 フンカク

2) 指宿植物試験場

当場では1918年の設置以来、現在に至るまで、熱帯・亜熱帯植物の収集・保存を行い、教育研究に利用するとともに、地域への普及を行っている。これまで、マンゴー、パッションフルーツなどの熱帯果樹類や熱帯産ヤムイモなどが、南九州で特産化されている。

遺伝資源植物として保存している植物数は、品種や系統も含めると約1,500種類である。これらは、鉢や露地植えで保存されており、面積ベースでは、温室の40%、ビニルハウスの32%、圃場の50%である。単純計算であるが、教職員はこれら遺伝資源植物の維持、管理に全体の作業の40%程度の時間を割いていることになる。一方で、遺伝資源植物からの収入は、全体の10%程度である。

遺伝資源植物の保存、評価、利用なども附属農場の重要役割のひとつであるが、教職員数と比較した場合の労力や予算的な面からもほぼ限界の状況である。とくに果樹類などは実生系など品種が明確でないものも多く、それらは、結実が見られないものも多い。地域農業への貢献のためにも、明確な品種と生産性の可能性がある熱帯・亜熱帯果樹類への切り替えを進めている。

第23表 指宿植物試験場で保存している主な植物遺伝資源リスト

科名	和名	学名
アオイ	ハマボウ	<i>Hibiscus hamabo</i> Sieb. et Zucc.
アオイ	フウリンブツウゲ	<i>Hibiscus schizopetalus</i> (M. T. Mast.)
アオイ	ハイビスカス	<i>Hibiscus</i> spp.
アオイ	ヒメブツウゲ	<i>Malvaviscus arboreus</i> var. <i>drummondii</i> (Torr. et A. Gray) Schery
アオイ	ウナズキヒメフヨウ	<i>Malvaviscus arboreus</i> var. <i>mexicanus</i> Schlechtend.
アオギリ	ピンボンノキ	<i>Sterculia nobilis</i> Sm.
アカテツ	サボジラ	<i>Achras zapota</i> L.
アカテツ	クダモノタマゴ	<i>Lucuma nervosa</i> A.D.C.
アカテツ	ミラクルベリー	<i>Synsepalum dulcificum</i> Daniell
アカテツ	アビウ	<i>Pouteria caimito</i>
アカネ	サンタンカ	<i>Ixora chinensis</i> Lam.
アカネ	イクソラ・ダフィー	<i>Ixora duffii</i> T. Moore
アカネ	コーヒーノキ	<i>Coffea</i>
アヤメ	アメリカシャガ	<i>Neomarica northiana</i>
イネ	レモングラス	<i>Cymbopogon citratus</i> (DC.) Stapf
イネ	スズコナリヒラ	<i>Sinobambusa tootsik</i> Makino f. <i>albostriata</i> Muroi
イイギリ	ラブリーアップル	
イラクサ	ペリオニア	<i>Pellionia</i> spp.
イラクサ	アサバソウ	<i>Pilea cadierei</i> Gagnep. et Guillaum.
ウコギ	ホンコンカボック	<i>Schefflera arboricola</i> (Hayata) Hayata ex Kaneh.
ウラボシ	コウモリラン	<i>Platyserium bifurcatum</i> (Cav.) C. Chr.
ウルシ	マンゴー	<i>Mangifera indica</i> L.
オシロイバナ	ブーゲンビレア	<i>Bougainvillea</i> spp.

IV 研究活動

オトギリソウ	マンゴスチン	<i>Garcinia mangostana</i> L.
ガガイモ	スタベリア	<i>Stapelia</i> spp.
カキノキ	ブラックサボテ	<i>Diospyros ebenaser</i>
カタバミ	スターフルーツ	<i>Averrhoa carambola</i> L.
カヤツリグサ	カミガヤツリ	<i>Cyperus papyrus</i> L.
キツネノマゴ	ルリハナガサ	<i>Eranthemum pulchellum</i> Andr.
キツネノマゴ	シロアミメグサ	<i>Fittonia verschaffeltii</i> (Lem.) van Houtte var. <i>argyroneura</i> (Coem.) Nichols.
キツネノマゴ	アトロプルプレウム	<i>Pseuderanthemum atropurpureum</i> (Bull.) L. H. Bailey
キツネノマゴ	コダチヤハズカズラ	<i>Tunbergia erecta</i> (Benth.) T. Anderson
キツネノマゴ	ベンガルヤハズカズラ	<i>Tunbergia grandiflora</i> (Rosb. ex Rottl.) Rpxb.
キョウチクトウ	アデニウム	<i>Adenium</i> spp.
キョウチクトウ	オオバナアリアケカズラ	<i>Allamanda cathartica</i> L.
キョウチクトウ	ヒメアリアケカズラ	<i>Allamanda nerifolia</i> Hook.
キョウチクトウ	セイヨウキョウチクトウ	<i>Nerium oleander</i> L.
キョウチクトウ	キバナキョウチクトウ	<i>Thevetia peruviana</i> (Pers.) K. Schum.
キントラノオ	アセロラ	<i>Malpigia glabra</i> L.
クスノキ	アボカド	<i>Persea americana</i> Milll.
クマツヅラ	ハリマツリ	<i>Duranta repens</i> L.
クマツヅラ	チャイニーズハット	<i>Holmskioldia sanguinea</i> Retz.
クマツヅラ	ランタナ	<i>Lantana camara</i> L.
クマツヅラ	コバノランタナ	<i>Lantana montevidensis</i> (K. Spreng.) Briq.
クマツヅラ	ベトレア	<i>Petrea vollubilis</i> L.
クロウメモドキ	インドナツメ	<i>Zizyphus mauritiana</i> Lam.
クロウメモドキ	ナツメ	<i>Zizyphus jujuba</i> var. <i>inermis</i>
クワ	カンテンイタビ	<i>Ficus awkeotsang</i> Makino
クワ	インドゴムノキ	<i>Ficus elastica</i> Roxb. ex Hornem.
クワ	カシワバゴム	<i>Ficus lyrata</i> Warb.
クワ	ガジュマル	<i>Ficus microcarpa</i> L. f.
クワ	オオイタビ	<i>Ficus pumila</i> L.
クワ	アコウ	<i>Ficus superba</i> Miq. var. <i>japonica</i> Miq.
ゴマノハグサ	ハナチヨウジ	<i>Russelia equisetiformis</i> Schlechtend et Cham.
サトイモ	ヒトスジグサ	<i>Aglaonema costatum</i> N. E. Br.
サトイモ	アグラオネマ	<i>Aglaonema</i> spp.
サトイモ	クワズイモ	<i>Alocasia odora</i> K. Koch
サトイモ	オオベニウチワ	<i>Anthurium andreanum</i> Linden corr. Andre
サトイモ	サトイモ	<i>Colocasia esculenta</i> (L.) Schott
サトイモ	ジャイアントスワンブタロ	<i>Cyrtosperma chamissonis</i> (Schott) Merrill
サトイモ	ホウライシヨウ	<i>Monstera deliciosa</i> Liebm.
サトイモ	マドカズラ	<i>Monstera friedrichsthalii</i> Schott
サトイモ	スパティフィラム	<i>Spathiphyllum</i> spp.
サボテン	ドラゴンフルーツ	<i>Hylocereus undatus</i>

シソ	クミスクチン	<i>Orthosiphon aristatus</i> (Blume) Miq.
シノブ	タマシダ	<i>Nephrolepis cordifolia</i> (L.) K. Presl
シヨウガ	ゲットウ	<i>Alpinia zerumbet</i> (Pers.) B. L. Burtt et R. M. Sm.
シヨウガ	キフゲットウ	<i>Alpinia zerumbet</i> (Pers.) B. L. Burtt et R. M. Sm. 'Variegata'
シヨウガ	フクジンソウ	<i>Costus speciosus</i> (J.Konig) Sm.
シヨウガ	キョウオウ	<i>Curcuma aromatica</i> Salisb.
シヨウガ	ウコン	<i>Curcuma longa</i> L.
シヨウガ	ガジュツ	<i>Curcuma zedoaria</i> (Christm) Roscoe
スイカズラ	ゴモジュ	<i>Viburnum suspensum</i> Lindl.
タデ	ハマベブドウ	<i>Coccoloba uvifera</i> .
ソテツ	ナンヨウソテツ	<i>Cycas circinalis</i> L.
ソテツ	ソテツ	<i>Cycas revoluta</i> Thunb.
ツツジ	ケラマツツジ	<i>Rhododendron scabrum</i> G. Don
ツユクサ	ムラサキオモト	<i>Rhoeo spathacea</i> (Swartz) Stearn
トウダイグサ	クロトン	<i>Codiaeum variegatum</i> (L.) Blume
トウダイグサ	ハナキリン	<i>Euphorbia milii</i> Desmoul. var. <i>splendens</i> (Bojer ex Hook.) Ursch et Leandri
トウダイグサ	アオサンゴ	<i>Euphorbia tirucalli</i> L.
トウダイグサ	ナンヨウザクラ	<i>Jatropha integerrima</i> Jacq.
トウダイグサ	サンゴアブラギリ	<i>Jatropha podagrica</i> Hook.
トウダイグサ	セッカギンリュウ	<i>Pedilanthus tithymalodes</i> (L.) Poit.
トケイソウ	ムラサキクダモノトケイソウ	<i>Passiflora edulis</i> Sims.
トケイソウ	パッションフルーツ	<i>Passiflora edulis</i> × <i>P. edulis</i> f. <i>flavicarpa</i>
ナス	ニオイバンマツリ	<i>Brunfelsia australis</i> Benth.
ナンヨウスギ	シマナンヨウスギ	<i>Araucaria heterophylla</i> (Salisb.) Franco
ノウゼンカズラ	ハリミノウゼン	<i>Clytostoma callistegioides</i> (Cham.) Bur.
ノウゼンカズラ	ジャカラランダ	<i>Jacaranda</i> sp.
ノウゼンカズラ	イペ	<i>Tabebuia</i> sp.
パイナップル	パイナップル	<i>Ananas comosus</i> (Linn.) Merr.
パイナップル	チランジア	<i>Tillandsia</i> spp.
パイナップル	サルオガセモドキ	<i>Tillandsia usneoides</i> (L.) L.
バショウ	バナナ	<i>Musa</i> spp.
バショウ	ニコライ	<i>Strelitzia niccolai</i> Regel et Korn.
バショウ	ゴクラクチョウカ	<i>Strelitzia reginae</i> Ait.
バショウ	ユンケア	<i>Strelitzia reginae</i> var. <i>junceae</i> (Ker-Gawl.) H. E. Moore
パパイヤ	パパイヤ	<i>Carica papaya</i>
バラ	ヒメシャリンバイ	<i>Raphiolepis umbellata</i> (Thunb.) Makino var. <i>integerrima</i> (Hook. et Rehd)

IV 研究活動

パンヤ	パキラ	<i>Pachira aquatica</i> Aubl.
パンヤ	トックリキワタ	<i>Chorisia speciosa</i>
バンレイシ	チェリモヤ	<i>Annona cherimola</i> Mill.
バンレイシ	アテモヤ	<i>Annona atemoya hort.</i>
バンレイシ	イランイラン	<i>Cananga odorata</i>
ヒガンバナ	クンシラン	<i>Clivia miniata</i> Regel
ヒガンバナ	ハマオモト	<i>Crinum asiaticum</i> L. var. <i>japonicum</i> Bak.
ヒユ	アルテナンテラ	<i>Alternanthera ficoidea</i> (L.) R. Br. ex Roem. Et Schult.
フトモモ	キンボウジュ	<i>Callistemon speciosus</i> (Sims) DC.
フトモモ	ユーカリノキ	<i>Eucalyptus</i> spp.
フトモモ	ビタンガ	<i>Eugenia michelii</i> Lam.
フトモモ	フェイジョア	<i>Feijoa sellowiana</i> O. Berg.
フトモモ	メラレウカ	<i>Melaleuca</i> spp.
フトモモ	ギンバイカ	<i>Myrtus communis</i> L.
フトモモ	テリハバンジロウ	<i>Psidium cattleianum</i> Sab.
フトモモ	キミノバンジロウ	<i>Psidium cattleianum</i> Sab. Var. <i>lucidum hort.</i>
フトモモ	グァバ	<i>Psidium guajava</i> L.
フトモモ	ミズレンブ	<i>Syzygium aqueum</i> Alston
フトモモ	フトモモ	<i>Syzygium jambos</i> (L.) Alston
フトモモ	ジャボチカバ	<i>Myracia couliflora</i> O.Berg
ベンケイソウ	カゲツ	<i>Crassula portulacea</i> Lam.
ベンケイソウ	カランコエ	<i>Kalanchoe blossfeldiana</i> Poelln.
マメ	ソウシジュ	<i>Acacia confusa</i> Merrill
マメ	ネムノキ	<i>Albizia julibrissin</i> Durazz.
マメ	バウヒニア	<i>Bauhinia</i> spp.
マメ	カリアンドラ	<i>Calliandra</i> spp.
マメ	コバノセンナ	<i>Cassia coluteoides</i> Collad.
マメ	ナンバンサイカチ	<i>Cassia fistula</i> L.
マメ	サンゴシトウ	<i>Erythrina</i> × <i>bidwillii</i> Lindl.
マメ	アメリカデイコ	<i>Erythrina crista-galli</i> L.
マメ	マルバデイコ	<i>Erythrina crista-galli</i> L. 'Maruba-Deiko'
ミカン	シロサポテ	<i>Casimiroa edulis</i> La Llave and Lex.
ミソハギ	メキシコハナヤナギ	<i>Cuphea hyssopifolia</i> H. B. K.
ミソハギ	ハナヤナギ	<i>Cuphea micropetala</i> H. B. K.
ムクロジ	リュウガン	<i>Euphoria longan</i> Lam.
ムクロジ	ライチ	<i>Litchi chinensis</i> Sonn.
モクセイ	シマトネリコ	<i>Fraxinus griffithii</i> C. B. Clarke
モクセイ	ハゴロモジャスミン	<i>Jasminum polyanthum</i> Franch.
モクマオウ	モクマオウ	<i>Casuarina stricta</i> Ait.
ヤシ	アカントフィラ	<i>Aiphanes acanthophylla</i> (Mart.) Burret
ヤシ	ユスラヤシ	<i>Archontophoenix alexandrae</i> (F. J. Muell.) H. Wendl. et Drude
ヤシ	ビンロウジュ	<i>Areca catechu</i> L.
ヤシ	ジョオウヤシ	<i>Arecastrum romanzoffianum</i> (Cham.) Becc.

ヤシ	サトウヤシ	<i>Arenga pinnata</i> (Wurmb) Merrill
ヤシ	クロツグ	<i>Arenga tremula</i> (Blanco) Becc. var. <i>engleri</i> (Becc.) Hatus.
ヤシ	ボンネッティ	<i>Butia bonnetii</i> (Becc.) Becc.
ヤシ	ブラジルヤシ	<i>Butia capitata</i> (Mart.) Becc.
ヤシ	クジャクヤシ	<i>Caryota mitis</i> Lour.
ヤシ	チャボトウジュロ	<i>Chamaerops humilis</i> L.
ヤシ	アレカヤシ	<i>Chrysalidocarpus lutescens</i> H. Wendle.
ヤシ	デュシアナ	<i>Coccothrinax dussiana</i> L. H. Bailey
ヤシ	ココヤシ	<i>Cocos nucifera</i> L.
ヤシ	テーブルヤシ	<i>Collinia elegans</i> (Mart.) Liebm. ex Oerst.
ヤシ	シロロウヤシ	<i>Copernicia alba</i> Morong
ヤシ	ヒメショウジョウヤシ	<i>Cyrtostachys lakka</i> Becc.
ヤシ	バガニー	<i>Drymophloeus beguinii</i> (Burret) H. E. Moore
ヤシ	ケンチャヤシ	<i>Howea belmoreana</i> (C. Moore et F.J. Muell.) Becc.
ヤシ	ヒロハケンチャヤシ	<i>Howea forsteriana</i> (C. Moore et F.J. Muell.) Becc.
ヤシ	マルハウチワヤシ	<i>Licuala grandis</i> H. Wendl.
ヤシ	シナビロウ	<i>Livistona chinensis</i> (Jacq.) R.Br.ex Mart.
ヤシ	ビロウヤシ	<i>Livistona chinensis</i> (Jacq.) R. Br. ex Mart. var. <i>subglobosa</i> (Hassk.)
ヤシ	オガサワラビロウ	<i>Livistona chinensis</i> (Jacq.) R. Br. ex Mart var. <i>boninensis</i> Becc.
ヤシ	トックリヤシ	<i>Mascarena lagenicaulis</i> L. H. Bailey
ヤシ	トックリヤシモドキ	<i>Mascarena verschaffeltii</i> (H. Wendl.) L. H. Bailey
ヤシ	ヴェデアナム	<i>Microcoelum weddellianum</i> (H. Wendl.) H. E. Moore
ヤシ	ミツヤヤシ	<i>Neodypsis decaryi</i> Jumelle
ヤシ	キリンヤシ	<i>Phoenicophorium borsigianum</i> (K. Koch) Stuntz
ヤシ	カナリーヤシ	<i>Phoenix canariensis</i> hort. ex Chabaud
ヤシ	ナツメヤシ	<i>Phoenix dactylifera</i> L.
ヤシ	カブダチソテツジュロ	<i>Phoenix reclinata</i> Jacq.
ヤシ	シンノウヤシ	<i>Phoenix roebelenii</i> O'Brien
ヤシ	サトウナツメヤシ	<i>Phoenix sylvestris</i> (L.) Roxb.
ヤシ	ヒメヤハズヤシ	<i>Ptychosperma elegans</i> (R. Br.) Blume
ヤシ	シュロチクヤシ	<i>Ptychosperma macarthurii</i> (H. Wendl.) Nichols.
ヤシ	カンノンチク	<i>Rhapis excelsa</i> (Thunb.) A. Henry
ヤシ	シュロチク	<i>Rhapis humilis</i> Blume
ヤシ	フロリダダイオウヤシ	<i>Roystonea elata</i> (Bartr.) F. Harper
ヤシ	サバルヤシ	<i>Sabal</i> spp.
ヤシ	ヤエヤマヤシ	<i>Satakentia liukiensis</i> (Hatsu.) H. E. Moore
ヤシ	コバナクマデヤシ	<i>Thrinax parviflora</i> Swartz
ヤシ	マニラヤシ	<i>Veitchia merrillii</i> (Becc.) H. E. Moore
ヤシ	ウイニン	<i>Veitchia winin</i> H. E. Moore
ヤシ	タケウマキリンヤシ	<i>Verschaffeltia splendida</i> H. Wendl.
ヤシ	オキナヤシ	<i>Washingtonia filifera</i> (Linden ex Andre) H. Wendl.
ヤシ	オキナヤシモドキ	<i>Washingtonia robusta</i> H. Wendl.
ヤマノイモ	カシュウイモ	<i>Dioscorea bulbifera</i> L.
ヤマノイモ	ヤムイモ	<i>Dioscorea cayenensis</i> Lam.
ヤマノイモ	トゲドコロ	<i>Dioscorea esculenta</i> (Lour) Burk.
ヤマノイモ	ヤムイモ	<i>Dioscorea opposita</i> Thunb.
ヤマノイモ	ヤムイモ	<i>Dioscorea rotundata</i> Poir.
ヤマノイモ	ダイジョ	<i>Disocorea alata</i> L.
ヤマモガシ	マカダミアナッツ	<i>Macadamia integrifolia</i> Maiden et Betche
ユキノシタ	サラサウツギ	<i>Deutzia crenata</i> Sieb. et Zucc. f.plena (Maxim.) C.K. Schneid.

IV 研究活動

ユリ	キダチアロエ	<i>Aloe arborescens</i> Mill.
ユリ	アロエ	<i>Aloe</i> spp.
ユリ	ハラン	<i>Aspidistra elatior</i> Blume
ユリ	オリズラン	<i>Chlorophytum comosum</i> (Thunb.) Jacques
ユリ	十二の巻	<i>Haworthia fasciata</i> (Willd.) Haw.
ユリ	ソキアリス	<i>Ledebouria socialis</i> (Bak.) Jessop
ラン	ホウサイラン	<i>Cymbidium sinense</i> (Andr.) Willd.
ラン	オンシジューム	<i>Oncidium</i> spp.
ラン	バニラ	<i>Vanilla planifolia</i> G. Jacks.
ラン	トックリラン	<i>Beaucarnea recurvata</i>
リュウゼツラン	リュウゼツラン	<i>Agave</i> spp.
リュウゼツラン	センネンボク	<i>Cordyline terminalis</i> (L.) Kunth
リュウゼツラン	ベニフクリンセンネンボク	<i>Doracaena concinna</i> Kunth
リュウゼツラン	シロシマセンネンボク	<i>Doracaena deremensis</i> Engl.
リュウゼツラン	ギンヨウセンネンボク	<i>Doracaena sanderiana</i> hort. Sander ex M.T. Mast.
リュウゼツラン	レフレクサ	<i>Dracaena reflexa</i> Lam.
リュウゼツラン	ハーニー	<i>Sansevieria trifasciata</i> Prain 'Hahnii'
リュウゼツラン	トラノオ	<i>Sansevieria trifasciata</i> Prain 'Laurentii'
リュウゼツラン	ゴールドデンハーニー	<i>Sansevieria trifasciata</i> Prain 'Golden Hahnii'

1. 指宿植物試験場で保存栽培している主な植物を掲載したが、品種、系統については原則として除外した。
2. 科名、和名、学名については以下の書籍を参考にし、明確な和名が無いものは文献1を主に参考した。

参考文献

1. 塚本洋太郎総監修：園芸植物大事典 1 - 6 巻 小学館、1990
2. 熱帯植物研究会編：熱帯植物要覧 大日本山林会、1984
3. 土橋 豊：観葉植物1000 八坂書房、1992
4. 農林省熱帯農業研究センター：東南アジアの果樹、農林統計協会 1974

3) 入来牧場

・トカラ馬 (*Equus caballus*)

日本に現存する8種類の在来馬の一つで、1953年9月に鹿児島県の文化財として天然記念物に指定されている。鹿児島大学附属農場入来牧場では、平成23年度現在、推計46頭のトカラ馬を保有している。トカラ馬は完全な野生化状態で導入されており、成熟後の馴致も極めて困難な状況にある。頭数維持は自然交配自然分娩によって行われ、広大な敷地内での自然分娩のため、産子確認も難しい状況にある。また、人間に慣れていない状況下での個体管理は実質不可能なため、入来牧場では放牧群管理による遺伝資源保存のみを行っている。平成22年度、新生トカラ子馬を発見、隔離することに成功したため、現在馴致訓練を行っている。

・口之島野生化牛 (*Bos Taurus*)

日本に現存する2種類の在来牛の一つで、鹿児島県十島村に生息している。口之島野生化牛は絶滅の危機に瀕しているため、鹿児島大学において保護と増殖のための取り組みを行っている。近年の正確な生息頭数は不明であるが、鹿児島大学農学部附属農場では、10頭を保有し、保護している。平成23年度には、純粋口之島野生化牛の雌雄産子を得ており、雌雄とも今後の遺伝資源保護増殖に供試する予定としている。しかし、10頭という閉鎖集団内での近親交配が進んでいるため、新たな血統の導入を早急に検討する必要がある。